

## プロロジス、運営中の物流施設を活用した 太陽光発電の運転を開始

全国 8 棟の施設で合計 7.4 メガワットの太陽光発電運転開始



プロロジスパーク川島(上)・プロロジスパーク川島 2(下)



プロロジスパーク習志野 4

物流不動産の所有・運営・開発のリーディング・グローバル企業であるプロロジス(NYSE: PLD)は、太陽光発電プロジェクトの第 2 弾として、全国で所有・運営する物流施設のうち、8 棟の屋根に設置した太陽光発電システムの運転を開始しました。

今回発電を開始したのは、運営中の 8 棟の物流施設の屋根面に設置された設備で、合計約 7.4 メガワットの発電量となります。これらは 2012 年 7 月にスタートした固定価格買取制度を利用します。

プロロジスは全世界で Corporate Responsibility(企業としての責任)を理念とし、「環境への取り組み」「企業の社会的責任」「企業倫理とガバナンス」を 3 本の柱として企業活動を行っています。3 本の柱の 1 つである「環境への取り組み」において再生エネルギーの積極的活用を推進しており、グローバルでの導入実績は現時点で 6 カ国、合計 100 メガワット以上に達します。

日本では、固定価格買取制度開始前の 2009 年に「プロロジスパーク座間 1」の屋根面に、国内の物流施設としては当時最大規模の 1 メガワットの太陽光発電システムを導入しました。続いて、太陽光発電プロジェクト第一弾として、2013 年 4 月に 8 棟の物流施設において発電を開始しました。今回発電を開始した第二弾プロジェクトを含めて、合計 18.8 メガワットが稼働中となります。

プロロジスは今後もさらなる太陽光発電システム導入を計画中であり、11 棟の物流施設に、合計 14.3 メガワットをあらたに導入する予定です。現在稼働中の設備と合わせて 28 施設、合計約 33.1 メガワットとなる予定です。これは、一事業者が物流施設の屋根面に設置した太陽光発電システムの規模としては国内最大規模となります。\*

\*リリース発表時点。プロロジス調べ

## 太陽光発電プロジェクト第二弾 発電開始施設

施設名	所在地	発電出力(kW)
プロロジスパーク習志野 4	千葉県習志野市	1,117.41
プロロジスパーク川島 2	埼玉県比企郡川島町	1,185.24
プロロジスパーク北本	埼玉県北本市	1,163.82
プロロジスパーク尼崎 1	兵庫県尼崎市	585.48
プロロジスパーク尼崎 2	兵庫県尼崎市	1,170.96
プロロジスパーク尼崎 3	兵庫県尼崎市	603.33
プロロジスパーク川西	兵庫県川西市	1,010.31
プロロジスパーク鳥栖 4	佐賀県鳥栖市	617.61
合計		7,454.16

本プレスリリースに関するお問い合わせ先  
プロロジス 広報室

報道関係者お問い合わせフォーム  
[https://f.msgs.jp/webapp/form/11859\\_dor\\_73/index.do](https://f.msgs.jp/webapp/form/11859_dor_73/index.do)